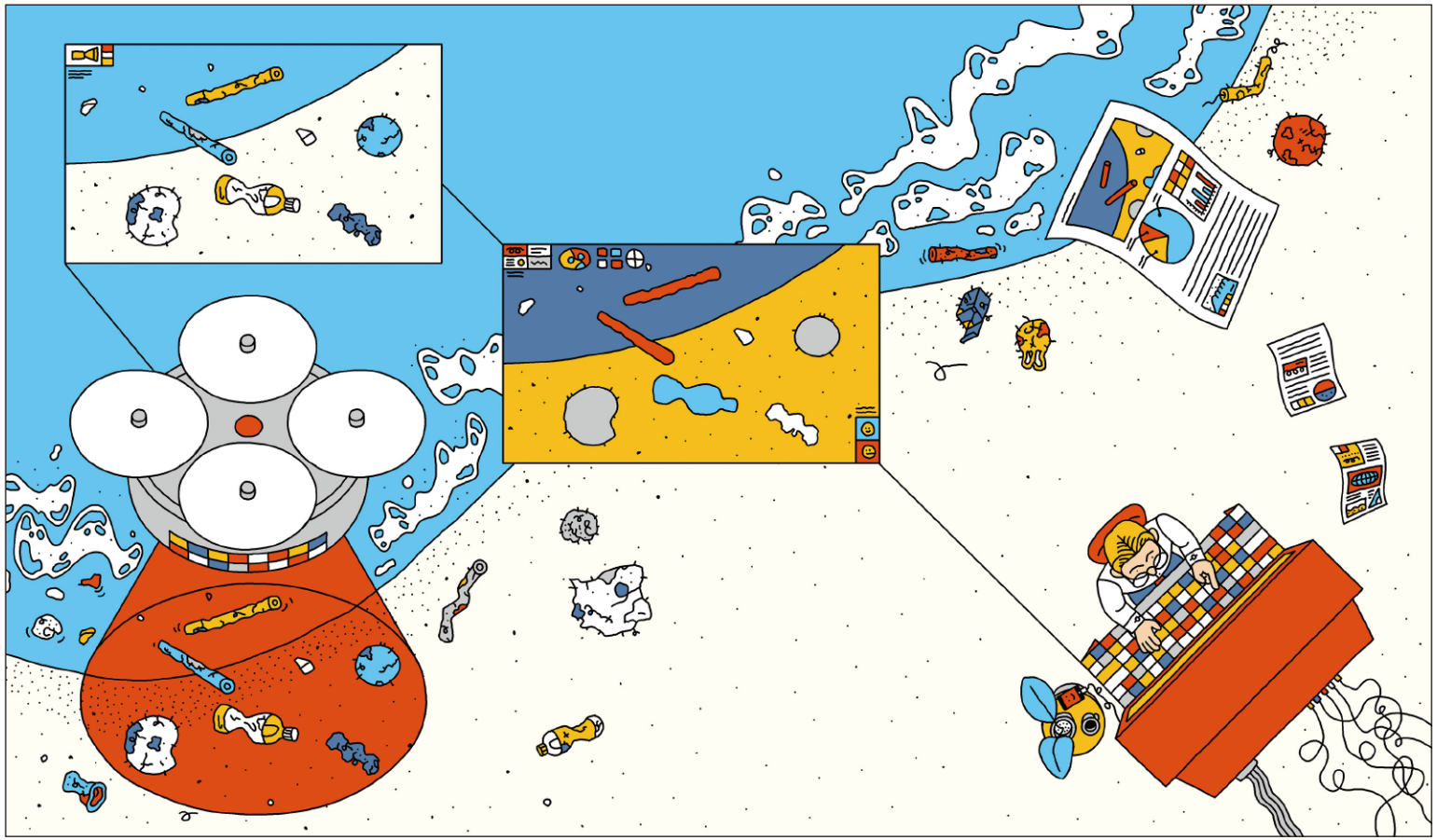
ドローンによる海岸漂着ごみ解析サービス

TEAM
株式会社 ACSL ／ 株式会社 Ridge-i

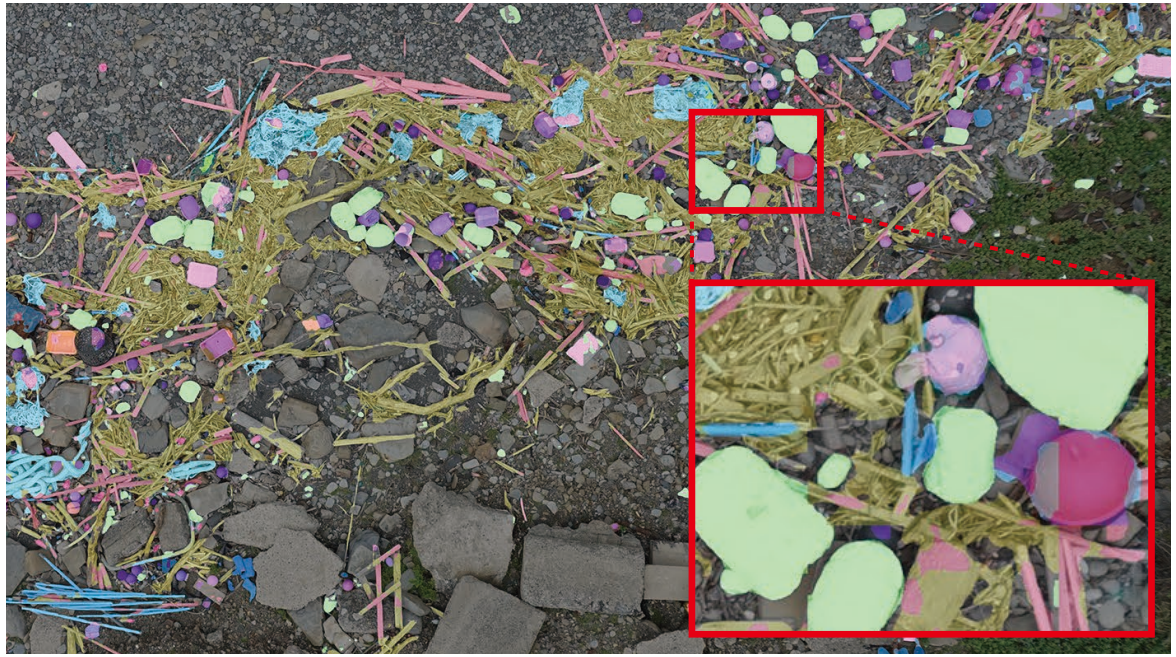
サービスのビジョン

海岸に漂着したごみの回収を自治体レベルで実施するためには、その回収方法や、回収したごみの処分方法に関する計画立案が欠かせません。そして、そのためには事前にごみの種類や量などを把握しておく必要があります。
本サービスでは、ドローンを用いて数km単位で海岸の空撮を行い、AI解析によってごみの種類を識別するとともに、ゴミの容量・重量の推定を行います。その上で、ごみ回収の計画立案のベースとなる資料を作成します。



サービスの特徴

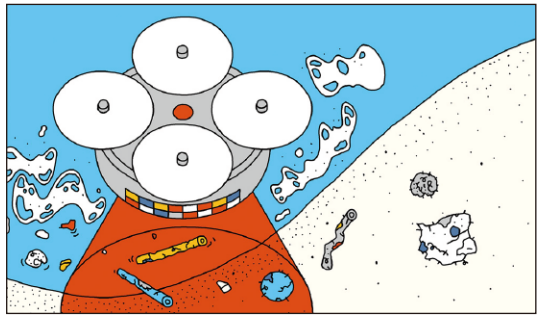
ドローンを用いて数kmの沿岸部を空撮後、画像データのAI解析によってごみを
9種類に識別し、海岸のごみ量を推定（概算容量・重量）したレポートを提供します。



判定例

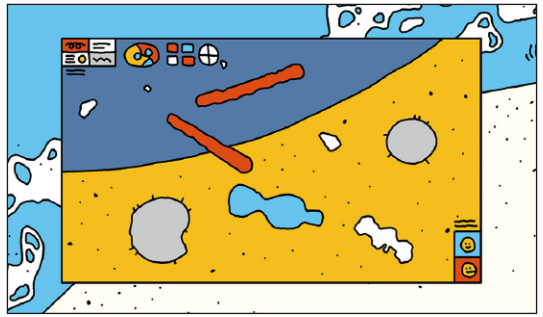
- 発泡スチロール
- 漁業ブイ
- 人工木
- 流木

サービスの概要



ドローンによる空撮

ドローンを用いて数km単位で海岸を空撮し、漂着ごみの画像データを取得します。目視外飛行に対応した長距離飛行機体を使用するため、人が立ち入れない離島などの撮影も可能です。



AIによる画像解析

収集した画像をAIにより解析し、ごみの種別（9種類）と量（概算容量・重量）を推定します。

報告資料の作成

具体的なごみ回収計画を立案するために参考となる情報（可燃ごみ／不燃ごみの割合、回収に必要となるトラック台数など）を含む報告書を作成します。

プロセスとスケジュール

1ヶ月 撮影方針の協議・決定

2ヶ月 ドローン撮影の実施

3ヶ月 AI解析結果の報告

※ 協議開始から標準で3ヶ月程度。
※ 年間での継続的な調査も可能。

費用

標準プラン ▶ 450万円
調査対象エリアは5kmまで／ドローン撮影1回実施

2022年3月現在

チーム紹介

株式会社 ACSL

所在地：東京都江戸川区臨海町3-6-4
ヒューリック葛西臨海ビル2階
代表者：代表取締役社長 兼 COO 鷲谷聡之
WEB：https://www.acsl.co.jp/

事業内容

●産業用ドローンの製造販売及び自律制御技術を用いた無人化・IoT化に係るソリューションサービスの提供

株式会社 Ridge-i

所在地：東京都千代田区大手町1-6-1
大手町ビル438
代表者：代表取締役社長 柳原尚史
WEB：https://ridge-i.com

事業内容

●AI・ディープラーニング技術のコンサルティングおよび開発

●共同事業、ライセンス、保守モデル、自社開発等によるプロダクトの提供

本サービスに関するお問い合わせ

プロジェクト・イッカク事務局（リバネス内）
ikkaku@lne.st

WEBサイトはこちら
▼
https://ikkaku.lne.st/

プロジェクト・イッカクについて

プロジェクト・イッカクは、「海ごみ削減を実現するビジネス」を社会実装することを目的に、日本財団・JASTO・リバネスの3者によって2019年に発足しました。
本プロジェクトでは、新技術や従来にない発想をもつベンチャー企業をはじめ、学術機関・町工場・大企業・中小企業などの「超異分野チーム」が連携していくことで、革新的技術の開発や事業化を推進するプロセスを採用。日本財団による支援のもとで、2021年までの3年間で数々のサービスを開発してきました。
2022年4月からは単独のプロジェクトとして、引き続き参画チームと共に「海ごみ削減を実現するビジネス」の社会実装を推進していきます。

PROJECT IKKAKU | 日本財団 海と日本 PROJECT | CHANGE FOR THE BLUE 海の未来を変える挑戦 | JASTO | Leave a Nest